

文化・芸術



「クリスマス初めの日 私に与えられた真実の愛」

1966年、インク・水彩・紙
20・8センチ×30・4センチ

ベン・シヤーン (1898~1969年)

欧米では、12月25日「me」からつけられてから翌年の1月5日まで

の12日間をクリスマスとするのが一般的です。この間に毎日もらったプレゼントを数え、登場するプレゼントは、ナシの木に止まるヤマウズラ、キツバト、フランスンドリ、鳴いている鳥、金の指輪、卵を産んでいるガチョウ、泳いでいる白鳥、乳牛、踊っている貴婦人、跳びはねている貴族、笛を吹いている笛吹、太鼓。本作はこの数え歌を題材にしており、作品名も、歌詞の最初の「On the first day of Christmas my true love sent to me」からつけられています。作者であるベン・シヤーンは、米国のサツコとバンゼッティ事件や日本の第五福竜丸事件など社会的問題を題材に作品を発表し、「ヒューマニズムの画家」と称される米国を代表する画家です。本作は画家最晩年の心温まる作品です。

「名画の扉」も今年最後の掲載となりました。今年もご愛読いただきありがとうございます。よいお年を。

(池田)

※大川美術館は来年1月15日まで臨時休館

Christmas my true love sent to

me

名画の扉

大川美術館から